

わざわざ大発生を御知らせ下さった坂根氏に厚く御礼申しあげる。

(追記) 1991年5月9日加古川市上荘町白沢の田圃のそばで雑草にとまっている本種2頭を発見その内の1♂を採集した。このあたりの本種の記録は始めてである。すぐそばではないがゴルフ場が近い地点でもある。

ヒラタアオコガネの生活史、卵、幼虫の形態については後閑暢夫博士の貴重な報文がある(それによると本種は本州では稀な種とも書いておられる—日本応用動物昆虫学会誌第24巻、第2号、PP.112—114, 1980)。

## 県関係文献紹介

### ○宝塚市立少年自然の家編集・発行(1991・Ⅲ)

自然観察資料 ギフチョウの一生。17P.

ギフチョウの産卵からふ化そして羽化するまでカラー写真35枚と発育過程の説明文もついている。写真は自然の家職員今北 清氏が3年前から写していたものであるとか、残念ながら現在のカラーとしては今一つの物足りない印刷になっている。

### ○宝塚の自然 第5号(1991・Ⅲ)

兵庫県自然保護協会宝塚支部・宝塚自然に親しむ会会報

仲々清楚な会誌である。ただ虫の記事が多いので虫<sup>〇</sup>ヤ<sup>〇</sup>にはうれしいが一般の会員にはどんなものであろうか。投稿者と云うのか原稿をバランスよく集めるのは大変であらう。貴重な記録も発表されたりしているので文献として一般にも知って頂きたい会報と云える。

### ○佐用ライオンズクラブ 千種川の生態 第18集。18P。(1991・Ⅳ)

平成2年度の千種川の水生生物調査のまとめである。息の長い調査色々と教えられる所がある。今後も継続調査されるようである。頑張ってもらいたい。

### ○釜城生物 No. 2, 3(1990・Ⅷ), No. 4, 5(1991・Ⅱ) 兵庫県立三木高等学校生物部刊。

永幡嘉之氏が三木高等学校在学中に1人で出版を続けてこられたもので永幡氏が大学へ進学(鳥取大学)されたのでこの会誌もNo. 5で休刊となるのは淋しい。今回の会誌の中には三木市内の河川の水生生物による水質調査結果のような仲々有益なレポートが発表になっていたりする。

### ○北部の自然。西宮の自然ガイド④

—西宮の北部で見られる生き物たち—(西宮市立総合教育センター編集出版。1991・Ⅲ)

美しいカラー写真が多く入って(93p.)楽しく読める。執筆は西宮市の学校の先生方が大部分である。昆虫も蝶を中心にキベリハムシとかオサムシなどの解説が入っている。

このシリーズ①②は「甲山の自然1, 2」(1989)。③「海辺の自然」(1989)。

また西宮自然保護協会編集“歩いてみよう西宮、夙川、甲山、1988”“続・歩いてみよう西宮、武庫川から海へ、1991”も出版されている。

○伊丹の自然 第9号(伊丹市立博物館1991年3月刊。48p.)

本会会員新家 勝氏から上記文献の御恵送を頂いた。

本号には新家 勝氏の力作“武庫川のトンボ”(p.32—48)が発表されている。

○自然とともに 第14号(1991.VI)。第15号(1991.VII)。

兵庫県保健環境部環境局環境管理課発行

第14号より活版印刷になりました。虫関連の記事はほとんど出ておりません。

## 県関係 会誌・機関誌・連絡誌

( 1 9 9 1 ・ IV — 1 9 9 1 ・ IX )

兵庫生物 Vol.10、No.2(1991・IV) (兵庫県生物学会)

兵庫生物ニュース No.1—4(1991・III—1991・IX) (兵庫県生物学会)

兵庫陸水生物 No.38(1991・IV) (兵庫陸水生物研究会)

混蟲ずかん No.29(1991・V) No.30(1991・IX) (但馬むしの会連絡誌)

のせ Vol.20、No.2—7(1991・II—VII) (大阪昆虫同好会連絡誌)

PARNASSIUS No.37(VII・1991) (淡路昆虫研究会)